



## 【2021 セイジ・オザワ 松本フェスティバル オーケストラ コンサート Bプログラム指揮】

### シャルル・デュトワ

Charles Dutoit

今日最も人気のある指揮者の一人。ローザンヌに生まれ、現地やジュネーヴで学び、大指揮者アンセルメやミュンシュに師事、1964年にベルン響を指揮してデビューした。以降、欧米の主要楽団を多く指揮し、特に25年にわたるモントリオール響との活動は特筆される。同団を「フランスのオケ以上にフランス的」という評価を得るまでの超一流に成長させ、一躍デュトワを世界の寵児に押し上げた。フランス国立管、フィラデルフィア管などのポストも歴任。1996年からはN響常任指揮者、98年から同団音楽監督を務め、2003年から名誉音楽監督。札幌のPMFや宮崎国際音楽祭の芸術監督も務めた。2018年にはサンクトペテルブルク・フィルの首席客演指揮者に就任。

シカゴ響、ボストン響、ニューヨーク・フィル、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、をはじめ、主要音楽都市のオーケストラに定期的に招かれ、色彩的で愉悦的リズムあふれる魅力的な演奏を披露、フランス音楽をはじめ、ストラヴィンスキーやメシアン、近代のバレエ音楽などの真髄を深いレベルで聴衆に伝えている。各地での勲章や博士号の授与も多い。録音の数は200以上に上り、2度のグラミー賞をはじめ数々の榮譽に輝いている。